

# 同仁

2026 冬号  
広報 vol. 271

## 新年のごあいさつ

- ◆セクション便り「入退院支援センター」
- ◆群星沖縄研修医インタビュー
- ◆八重瀬会 忘年会
- ◆心臓血管外科講演会
- ◆沖縄県医師会 永年勤続表彰

写真：駐車場近くに咲く寒緋桜



本年も、  
どうぞよろしく  
お願い申し上げます。



## 新年の「あいさつ」



理事長・院長 山内裕樹

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
地域の皆様におかれましては、健康やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、私ども医療法人八重瀬会同仁病院は、浦添の地に根を下ろして40周年という大きな節目を迎えました。大正7年の宮古同仁医院創設から数えれば百有余年。これほど長きにわたり地域医療の一翼を担い続けてこられたのは、ひとえに地域の皆様の温かいご支援と信頼の賜物であり、改めまして深く感謝申し上げます。

さて、昨今の医療・介護業界を取り巻く環境は、物価高騰や制度改革、急速に進む少子高齢化などにより、かつてない厳しさの中にあります。しかしながら、逆風の中にある今だからこそ、組織としての姿勢や真価が問われている局面にあると考えております。私たちはこの状況を、単なる試練としてではなく、変革と成長の機会と捉え、前に進んでまいります。

そのための鍵となるのが、「チーム八重瀬会」としての結束です。医療や介護は、決して一人では完結できません。医師、看護師、コメディカル、事務職員、それぞれの専門職が「One for all, all for one（一人はみんなのために、みんなは一人のために）」の精神で互いに支え合い、連携することが地域の皆様により良い医療・介護をお届けする力になるものと考えております。

私たちは、一人ひとりが「プロフェッショナル」としての自覚と誇りを持ち、日々の診療や対応の質を高めることに努めてまいります。そして、「心のこもった挨拶」と「接遇」を大切にし、安心して受診していただける医療・介護環境の実現を目指してまいります。

法人理念である「一視同仁」の精神で、「May I help you」のホスピタリティを胸に、「正確な診断・適切な治療・良質な対応」を追求し続けること。そうした取り組みを積み重ねていくことが、地域の皆様への感謝を形にする道であると考えております。

本年も地域と医療・介護をつなぐ存在として、皆様の健康と安心を支え続けられるよう、職員一丸となって邁進してまいります。  
変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## 柔軟に挑戦、かつプロフェッショナル



## 入退院支援センター

「入院が決まったけれど、これからの生活が不安…」

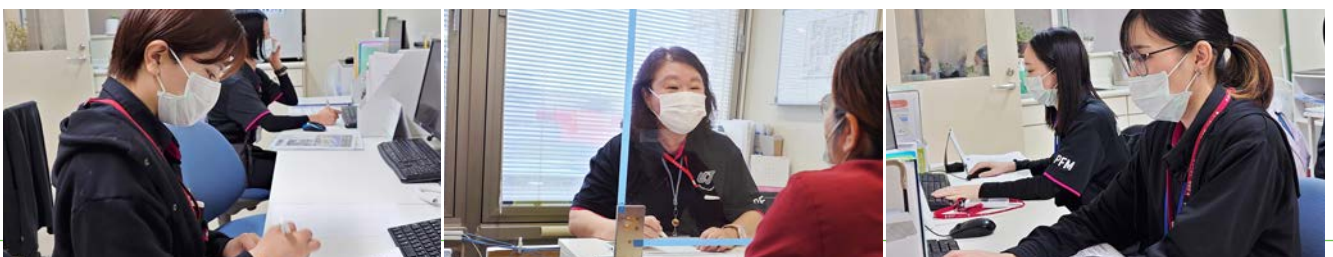
そんな患者さんやご家族の想いに寄り添うのが、入退院支援センターです。入院は治療だけでなく、生活環境やご家族の負担など、さまざまな不安を伴うものです。

当センターでは、看護師をはじめとする多職種の専門スタッフがチームとなり、入院前の準備から入院中の支援、退院後の生活に至るまでを切れ目なくサポートしています。患者さん一人ひとりの状況や希望を伺いながら、安心して治療に専念できる環境づくりに努めています。

早期に住み慣れた地域での生活へ戻れるよう、医療と生活の橋渡し役として、常に患者さんの立場に立った支援を大切にしています。

## 主な業務

- **入院前や入院中のサポート**  
入院生活のご案内や、事前に病状・不安な点を伺い、安全な治療環境を整えます。また、医療費の相談や、病状に適したお部屋の調整も行います。
- **退院後の生活設計**  
介護保険の利用相談、かかりつけ医や訪問看護の紹介など、退院後の環境作りをお手伝いします。
- **地域との橋渡し**  
ケアマネジャーや福祉用具など、地域のサービスと連携し、退院後の安心を支えます。



# 群星 沖縄プロジェクト

群星沖縄とは？

「よい医師を育てる」という一点で協力し、基幹型病院と協力型病院・施設で病院群を形成して相補的に研修医教育を担う臨床研修病院群プロジェクトです。



研修医：江口星（えぐち せい）  
写真：左

友愛医療センターで研修医として勤務、出生はアメリカ、幼少期を長崎で過ごす。ハンガリーの大学を卒業。今回の研修をきっかけに来年から東京科学大学へ入局予定。

—— 同仁病院での研修を選んだ理由は？

去年の群星プログラムで、島川先生（写真右／同仁病院整形形成外科医長）が講演されていて、骨切り術やスポーツ整形に興味があったので選びました。

—— 研修で印象に残ったことは？

まず、初日からビーチサッカーの全国大会に参加できたことです。スポーツドクターの瞬時に判断する能力を間近で体験できました。それから、沖縄尚学野球部の練習にも帯同しました。同仁病院は、限られた医師の数で手術数や症例の幅がとにかく大きく、専門医との距離感がとても近いので、勉強になることが多いです。

—— 研修で得たものは？

手術にも積極的に参加させてもらいましたので、流れや専門医が意図していることを理解し動くことができるようになりました。また、外来もたくさん参加させてもらったので、とても良い経験になりました。

—— 研修希望者へメッセージ

幅広い症例を経験したい人、スポーツ整形に興味がある人、手術も外来も積極的に参加したい人には、とても良い病院だと思います。



—— 和歌山のご出身とのことですが沖縄での生活はどうですか？

沖縄は年間を通して過ごしやすいい気候で、快適に生活することができています。休日には海や離島に出かけ、穏やかな時間を過ごすことができ、これほど気軽に美しい海を満喫できる環境は沖縄ならではの魅力だと思います。

—— 同仁病院での研修を選んだ理由は？

群星沖縄臨床研修センター主催の初期研修医オリエンテーションにて初めて島川先生にお会いし、スポーツ医学研修の存在を知りました。

私自身、学生時代から整形外科を志望し、スポーツ整形にも関心があったため、迷うことなく同仁病院での研修を希望いたしました。

—— 指導医の先生から言われて、心に残っている言葉は？

島川先生からお話を伺った際、自分自身の価値観を振り返るきっかけとなりました。これまで私は海外留学やチームドクターなどに、人に誇れるような仕事への漠然とした憧れを抱いていましたが、その先でどのように医療や社会に貢献していくのか等、改めて自身の将来像を考える契機となりました。

—— 研修希望者へメッセージ

整形外科は、人々の健康寿命の延伸に大きく貢献できる分野だと考えています。患者さんが好きなスポーツを続けたり、自分の足で行きたい場所へ出かけたりと、日常の楽しみを支えられる医療を通じて、社会に貢献できる医師を目指していきたいです。



研修医：  
萩野 幹二（はぎの かんじ）  
写真：右

大学まで和歌山県で育ち、研修医となるタイミングで沖縄へ。現在は沖縄協同病院にて初期研修を行っており、2026年度からは整形外科医として神戸大学での研修を予定。

## 医療法人八重瀬会 忘年会



2025.12.16 tue  
in THE NAHA TERRACE

去った年末、当法人にとって「40周年」の節目を祝う特別な忘年会を開催しました。

山内裕樹理事長・院長の挨拶に続き、浦添市の松本哲治市長、琉球大学腎泌尿器外科の猪口淳一教授から激励をいただき、浦添市医師会の洲鎌盛一会長による乾杯で宴がスタート。会場は一気に華やかな空気に包まれました。

「永年勤続表彰」では、開院時の院長である相談役と薬務室参加のご夫妻が登壇。40年前の歩みを振り返るお二人の言葉に、スタッフ一同、地域医療を支え続ける責任と誇りを改めて胸に刻みました。

余興では各部署がチームワーク溢れる出し物を披露し、ドリームスタースのスペシャルライブで盛り上がりは最高潮に。最後は整形外科部長の比嘉清志郎先生の挨拶で締めくくられました。この結束力を糧に、今年も地域の皆様に安心と笑顔をお届けしてまいります。

## 心臓血管外科講演会

当院にて、牧港中央病院の先生方を招いた「整形外科手術における血管損傷への対応」の講演会を開催しました。

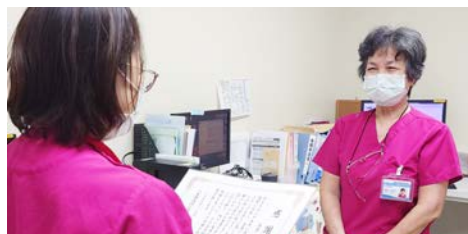
2026.01.19 mon  
in 同仁病院 ティーダホール

講師の大石淳実先生からは、症例に基づくリスク管理や緊急時の初期対応を解説いただきました。また当院の島川朋享医長との対談では、学生時代のサッカー部での対戦秘話も披露。かつてのライバルが今は医師として手を取り合い、医療安全を支える心強い絆が再確認されました。

続いて宗像宏先生より円滑な連携についての提案をいただき、活発な意見交換が行われました。



## 沖縄県医師会 永年勤続表彰



2025.12.12 fri

～県医師会表彰と長年の功績を讃えて～

看護部において永年勤続表彰および感謝式が行われました。当日は沖縄県医師会より「永年勤続職員表彰（勤続20年）」を受けられた3名の伝達式に加え、当院看護部において35年という長きにわたり看護の現場を支えてこられた職員への感謝状贈呈も併せて実施しました。

長年にわたり、それぞれの立場で地域医療と患者さんに寄り添い続けてこられた皆さんの歩みは、当院にとって大きな財産であり、後に続く職員の間でもあり、これまでの多大なるご貢献に深く敬意を表するとともに、心よりお祝い申し上げます。

# 同仁病院の、あの頃



1918年  
(大正07年)

創立間もない頃、宮古同仁  
医院前に佇む、創設者・上里  
忠勝。

忠勝は県立一中を経て満州  
医大に入学。卒業後、大連医院  
に勤務していたが、宮古平良  
村村長だった父・忠得の急逝  
により宮古に戻り、大正七年  
に開業した。

当時、宮古には二大勢力が  
あり、忠勝は一方の雄に担ぎ  
上げられ政界にも進出したが、  
家庭優先のため退き、医業を  
中心に宮古産業発展に尽力し  
た。

その頃、宮古で医師は数名  
しかおらず全診療科に対応し  
たが、人懐っこく社交性に富  
み人望を集め、門前市をなす  
程多くの患者さんに慕われた。  
宮古医療界・産業界のパイ  
オニアの一人で、逸話には事  
欠かない。

(相談役 山内英樹)

## 編集後記

明けましておめでとうございます。昨年行われた数々の  
行事や、今回の忘年会を通じ、改めて当院が多くの「人」  
と「地域」に支えられていることを実感しました。本年も、  
スタッフの想いや病院の取り組みを分かりやすくお届けし、  
地域と病院をつなぐ架け橋となれるよう努めてまいります。  
本年も広報「同仁」をよろしく願いいたします。

(杉)

SNSでは法人での出来事やイベントのお知らせなど  
リアルタイムでご確認できます。ぜひフォローといいいねをお願いします！

facebook



Instagram



YouTube



広報

2026 冬号  
vol. 271

発行：2026年02月01日  
発行者：医療法人 八重瀬会 同仁病院 企画室 広報誌制作チーム  
〒901-2133 沖縄県浦添市城間1-37-12  
TEL. 098-876-2212 FAX. 098-876-4209

広報「同仁」の読者アンケートを行っております。ご意見やご感想をお聞かせ下さい。





## — 八重瀬会 理念 —

我々は一視同仁（全ての人を平等に）の基

正確な診断  
適切な治療

良質な対応

で地域に根差した第一線の医療を目指します



医療法人 八重瀬会

検索

医療法人 八重瀬会 WEBサイト  
<http://www.yaese.or.jp/>



〒901-2133 沖縄県浦添市城間1-37-12

TEL 098-876-2212

### 診療科

内科 / 循環器内科 / 呼吸器内科 / 消化器内科 / 胃腸内科 / 小児科 / 外科 / 消化器外科 / 肛門外科  
整形外科 / 泌尿器科 / 皮膚科 / 形成外科 / 麻酔科 / 放射線科 / 歯科 / 歯科口腔外科  
リハビリテーション科

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30 ~ 12:00	○	○	休診	○	○	○	○
13:30 ~ 17:00	○	○	休診	○	○	○	休診

◆ 休診日・・・水曜日・日曜日午後・第2、4、5日曜日・祝日

在宅介護総合センター

## やえせ Assemble Garden

〒901-2113 沖縄県浦添市大平3-16-10

TEL 098-917-1313

センター内 施設

南棟

北棟

- ◆ 住宅型有料老人ホーム おおひらの丘
- ◆ サービス付き高齢者向け住宅 おおひらの丘S

- ◆ 居宅介護支援センター シルバーの里
- ◆ 訪問看護ステーション ぐしくま
- ◆ デイサービス とどろきの里
- ◆ 通所リハビリテーション シルバー園

### 浦添医院

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30 ~ 11:30	内科	整形外科	内科	内科	内科	内科	休診
13:00 ~ 16:30	内科	内科	内科	内科	内科	内科	休診

◆ 休診日・・・日曜日・祝日

